

『混乱から出た美しさ～セルビアの過去と現在～』

主催：早稲田大学校友会調布稲門会 語ろうアースカフェ 協力：早稲田大学留学センター



(特別国立保護区ウワツ川)



(ペヤ総主教修道院)

バルカン半島に位置する旧ユーゴスラヴィアの中心地セルビアは、東日本大震災に際し、ヨーロッパで最大の支援国であったこと、また昨年7月の西日本豪雨に対しても、いち早く閣議決定し支援を表明した親日国であることは、あまり知られていません。

バルカン半島は、西と東を結ぶ通り道として民族、文化、宗教がモザイク状に複雑に入り組み、紛争が絶えず、「ヨーロッパの火薬庫」と言われてきました。旧ユーゴスラヴィアも1980年チトー元帥死去後、1991年に内戦が勃発し、国家は解体して行きました。

一方で、複雑な地域ゆえに、混ざり合った豊かな文化も育まれてきました。古来のスラブの文化に、オスマントルコ、ハプスブルクオーストリア、ハンガリーなどの文化が大きな影響を与えてきています。

旧ユーゴスラヴィア生まれの講師ミリツァさんは、平和の尊さを身をもって感じている人です。彼女の目を通し、私たち日本人が知らずにいるセルビアの魅力を探っていきます。

皆様のご参加を心待ちにしております。

<講座日程> *開場は開始30分前です。

第1回	2019/3/24 (日) 10時～12時	「ヨーロッパの火薬庫の真ん中」 ーセルビアの歴史と政治ー 会場：9F 研修室 (定員48名)
第2回	2019/3/31 (日) 10時～12時	「ヨーロッパの未知な宝物」 ーセルビアの自然と文化ー 会場：10F 1002学習室 (定員50名)

場 所： 調布市文化会館たづくり 調布市小島町2-33-1

講 師： パヴコヴィッチ・ミリツァ

費 用： 各回 1,000円 (学生 無料)

<問合せ・申込み先> 山田和子 (Tel/Fax) 042-488-0741

(Email) kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

セルビア講座

—講師プロフィール—



パヴコヴィッチ・ミリツァ

(Pavkovic Milica)

早稲田大学政治研究科博士課程4年

セルビア、パンチェヴォ出身

(ベオグラードから12km, 空気汚染で
名高い工業都市)

趣味：ゲーム、歌唱、まんだら、
ポッドキャスト

—講師からのメッセージ—

皆さん、初めまして。セルビアから参りました、パヴコヴィッチ・ミリツァと申します。ベオグラード大学日本学科を卒業して、早稲田大学で組織犯罪と民主化の研究をしています。15年以上セルビアでも日本でも英語を教えています。外国語、言語学、政治、日本の文化はもちろん、他にも様々なことに興味があります。

東京に住んでもう8年目になりますが、国際理解支援協会などを通して、ずっとセルビアの文化を東京の生徒たちに紹介しています。ユーゴスラヴィアに生まれましたので、特に強調したいのは平和の大切さです。セルビアを含むバルカン半島という地域の複雑な歴史と現在の状況を日本人に頑張って説明し、今は安心な場所だと納得して頂きたいと思っています。というのは、歴史が複雑なのに、または複雑だからこそ現在のバルカン半島を訪ねるのは安全で、とても面白い経験になると思うからです。

セルビアの文化はトルコの文化、オーストリアの文化、ハンガリーの文化の影響が強いですが、スラブ民族の古い文化の要素もまだ明らかですので、セルビアの文化を習うとたくさん新しいことを発見すると思います。またお馴染みなことにも出会うかもしれません。私の講義を聞いて、セルビアだけではなく、旧ユーゴまたはバルカン半島の全体に対する皆さんの興味が深くなることを願っています。

語ろうアースカフェ HP : <https://kataroearthcafe.jimdo.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/kataroearthcafe/>

Twitter : <https://twitter.com/kataroearthcafe>

<国際理解講座：2013年～2018年>

ウズベキスタン、ミャンマー、スウェーデン、エストニア、タイ、ブラジル

<世界の食文化講座：2017年～2018年>

中央アジア、ロシア、